



社協

ほどがや

No. 52

【発行】

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会（会長 堀 功生）

〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階 TEL:341-9876 FAX:334-5805
ホームページ: <http://www.shakyohodogaya.jp/> Eメール: h@shakyohodogaya.jp

学校とつながる

県立商工高等学校

～地域との連携を目指して～



生徒がデザインした
保土ヶ谷区ボランティアセンター
マスコットキャラクター
じゃがぼうくん

地域社会を担う人材を育てるためにはまず地域を知ることが大事という学校の考えのもと、「地域で何かできることはないだろうか・・・」という総合ビジネス科（商業科）課題研究「ボランティアスピリット」の授業の一環として取組を開始。高校生自らが「自分たちにできること」を考え、地域での活動を行ってきました。今年度の活動は

- ◆今井町自治会では・・・ → 清掃活動、夏祭り、クリスマス会のボランティア
- ◆保土ヶ谷西部地区社協の子育てサロン「カンガルー」では・・・ → 水遊びボランティア
- ◆今井地域ケアプラザでは・・・ → 「高校生が教える！スマホ決済教室」

先生 ●「地域の方々に喜んでもらえるのか、考えながら活動している姿が見られました。他人を思いやる心を育むことができており、生徒の新たな顔が見られた活動になったと思います。」

生徒 ●「こういう活動をしない限り、毎日通っている学校の周りの方々と交流することがなかったので、とてもうれしいです。学校生活を送るなかでこのような経験ができ、私たちは多くの方々に支えられているということを実感しました。」

今後も学校のある地域の活性化のため、高校生が活躍していきます！



今井町自治会の夏祭りでは生徒自らが考えたゲームを実施し喜ばれました。

川島小学校

～地区社協との継続した交流～

川島東部地区社協では、以前より一人暮らしの高齢者を対象とした食事会「ふれあい給食会」に川島小学校の児童を招き交流してきました。

コロナ禍で中断していましたが、昨年より交流を再開。様々な学年の児童が来て、自分たちで考えたプログラムを発表し、高齢者とのふれあいを行っています。



児童と交流することで高齢者に笑顔が見られ、地域全体が元気になっています。



多世代でつながる

ラジオ体操

～ゆるいつながりづくり～

コロナ禍で自粛生活を余儀なくされた頃でも、地域で継続された取組のひとつに「ラジオ体操」があります。ラジオ体操は、健康増進や外出の機会としてだけでなく、「つながり」づくりにも一役買っています。

- ♥ 現在90歳を過ぎても私の健康と元気の秘訣。みんながいるから頑張ろうと思う。
- ♥ ラジオ体操だけでなく、指の体操などの脳トレなども楽しくやっている。笑いながらやるのが何よりもいい。
- ♥ 体操終了後にお散歩やお茶飲みの仲間ができた。街中であいさつできる人も増えた。
- ♥ 子どもが減ってしまったけれど、夏休みは一緒に参加してくれて楽しい。
- ♥ 引っ越してきたばかりで地域に知り合いがいなかった時から参加して数十年。地域に馴染むきっかけになった。

参加者の声



健康増進

外出のきっかけ

会長就任のごあいさつ

今年6月に保土ヶ谷区社協会長に就任しました堀功生です。日頃より地域の福祉活動にご尽力いただき、またご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。



地域ではお子さんやご高齢の方、障がいのある方を見守りながら、住みやすい街を目指し様々な活動が行われています。

保土ヶ谷区20万区民が「いつまでも住み続けたいまち」となるよう、地域の福祉活動を支援していくことが我々区社協に与えられた大きなミッションであると感じています。

皆さんと一緒に考え、一緒に取組みを進めていきたいと思いで、今後ともよろしくお願いいたします。



福祉施設とつながる

区内の障害福祉事業所

～地域とつながる、地域と一緒に盛り上げる～

区内では様々な障害福祉事業所が地域のイベントや会議に参加して地域と一緒に盛り上げる活動をしています。

仏向地区では、**地域作業所「浜風」**が自治会や仏向小、ケアプラザのお祭り・フェスタで魚釣りゲームや手芸品販売で出店したり、地域防災拠点訓練で段ボールベッドやハマッコトイレの組み立て体験に参加しました。また、**入所施設「たちほどがや」とグループホーム「サンハイム仏向」**がほっとなまちづくり地区懇談会に参加し一緒に話し合いを重ねています。

和田・釜台地区（連町フェスティバル）では**児童家庭支援センター「ゆめのね」**が輪投げゲームで、**「夢21上星川」**がアイスコーヒーやクッキーの販売で出店しました。「ゆめのね」は地区社協の広報紙の編集委員会やこども食堂の準備会にも参加しています。地域の会議やイベントに、お近くの事業所にもぜひお声かけください。



手芸品販売の様子



障害のある方にとっても地域の方と一緒に防災訓練は大切な機会になっています。

地域

と

つながりたい



多世代の交流

知り合いが増える

見守りあい



地区社協の支援

～つながりづくりを応援します～

■地区社協とは！?

地区社会福祉協議会(以下、地区社協)は、地域の方々が「自分たちの地域は自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。

保土ケ谷区には22の地区社協があり、高齢者食事会、見守り活動、多世代交流イベント、子育てサロン、福祉保健講座、広報紙の発行など、地域住民同士の**つながりづくり**に向けて、各地区で様々な取組をしています。

保土ケ谷区社協は、情報提供や地域活動者向けの研修、助成金の交付などを通して、地区社協活動を応援しています。

●地区社協助成金の財源

『共同募金(赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金)』

『世帯賛助会費の還元金』など

地域の皆様からの寄付金を活用しています。

各自治会町内会
からお寄せいた
いた世帯賛助会費
の60%を還元

保土ケ谷区社協は

様々な

つながりを
目指しています

共同募金

助成金の交付

世帯賛助会費 の還元金

情報提供

研修

ご案内

「ボランティアを依頼したい人」と
「ボランティアをしたい人」をつなぐ

保土ケ谷区 ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティアしたい人と、
してほしい人を「つなげ」るはたらきをしています、
「何かボランティアしたい」と思ったら、ボランティア
センターにご相談ください。

ボランティア
したい人、団体

ボランティア
してほしい人



保土ケ谷ボランティアセンター

Tel 045-332-2412 (保土ケ谷区社協内)

障害の方とボランティアをつなぐ!

保土ケ谷区移動情報センター

区内には約1万人の障害のある方が生活しています。その中には一人では外出が難しい方も。通学やお出かけなどのちょっとしたお手伝いを地域に住むボランティアさん(ガイドボランティア)にお願いしています。ガイドボランティアは、同じ地域に住む人同士のつながり・助けあい活動でもあります。

月1回、週1回の活動でもOK! ガイドボランティアからは「子どもの成長が楽しみ」「笑顔が見られて元気になれる!」という声も。活動希望者を随時募集中。

詳細は移動情報センターまで。

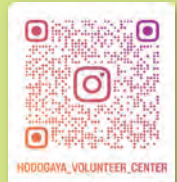
Tel 045-332-2479 (保土ケ谷区社協内)



ボランティア仮登録



Instagram



保土ケ谷区社協
令和6年度事業計画・令和5年度事業報告は [こちら](#)



ほっとなまちづくりフォーラム 第41回 保土ケ谷区社会福祉大会

つながり支えあい安心していきいきと
暮らせるまちほどがやを目指して



地域福祉活動などに功績のあった方々の表彰と、保土ケ谷区地域福祉保健計画(愛称:保土ケ谷ほっとなまちづくり)に関する活動発表と講演を行います。ぜひお出かけください。

日時 ● 令和6年12月7日(土) 13:30 ~ 16:00

場所 ● 保土ケ谷公会堂

内容 ● 社会福祉功績者表彰式典

地区活動発表(権太坂境木地区・中央地区)、講演、福祉バザー、作品展

障害者週間キャンペーン

共にささえあいつながろう!

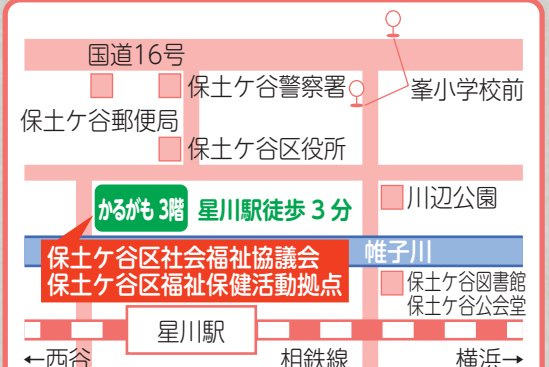


12月3日～9日は障害者週間です。障害のあるなしに関わらず、お互いに尊重しささえあう「共生社会」の実現に向けて、保土ケ谷区では毎年キャンペーンを実施しています。今年度は帷子小学校3年生と障害者団体やボランティアの皆さんが12月3日(火)に星川駅や保土ケ谷駅周辺で実施します。

編集後記

今回のテーマは「つながり」。地域と様々な形でつながっている「学校」、「福祉団体」を紹介しています。各地区社協の状況は様々ですが上記の方々等の協力で地区の活性化に役立っているようです。これからは益々外部団体と「つながる」ことが地区社協の活動に重要な役割を持ちそうです。また、各地区のラジオ体操がゆるやかな「つながり」を昔から作っていたことを再認識しました。

(編集委員 播口輝二)



*この広報紙は共同募金配分金を活用して発行しています。

*この広報紙のデザイン版を、保土ケ谷録音グループ「はし」の協力により発行しています。ご希望の方は保土ケ谷区社会福祉協議会までご連絡ください。

【編集委員】 根本和治(委員長)・菅沼久美子(副委員長)・大久保節子・大和田佳恵・内田優子・齊藤誠・島田直樹・播口輝二(五十音順)

